

知ってた!? 隠れたまちの アレコレ

市内の知られざるスポット
を調査してきました

Vol. 08 文化財で感じる秋の深まり

今回は、11月3日の文化の日になみ、全341件ある市内の指定・登録文化財の中から、紅葉を楽しめるスポットを紹介しします。地域に生きた人々が伝えてきた、かけがえのない自然や文化的遺産。真っ赤に彩られる紅葉を見上げて、その歴史に思いを巡らせてみませんか。



圧巻の巨大イロハモミジ

七北田川沿いの閑静な地にたたずむ賀茂神社。本殿は2社からなり、元禄時代に仙台藩四代藩主伊達綱村公が鹽竈神社を改築する際、境内にあった糾の宮を下賀茂神社として現在地に遷宮し、その後、上賀茂神社を勧請（神様の分霊を移すこと）したとされています。

入り口の鳥居をくぐると目の前に広がるのは、県の天然記念物に指定されている2本の「イロハモミジ」。樹齢は推定200年以上で、どちらも15メートル以上の高さを誇ります。木々の紅葉はもちろん、落ち葉が赤いじゅうたんのよう地面を彩る姿も必見です。



▲本殿は県の有形文化財に指定。向かって左が上賀茂神社、右が下賀茂神社



宮城交通「加茂五丁目北」バス停から徒歩5分



参道入り口の右側から伸びるイロハモミジ。その迫力に圧倒されること間違いなし!



頂上までの登城路（南側）。美しい紅葉が、癒やしを与えてくれます



▲頂上にある広場。春にはお花見を楽しむこともできます



市バス「今市橋」バス停から徒歩20分

戦の舞台となった岩切城跡



岩切城は、現在の仙台市から利府町にまたがる大規模な山城でした。鎌倉時代に陸奥国留守所（陸奥国の統治機関）の長官を務めた伊沢将監景の子孫である、留守氏の居城とされています。

昭和57年に国の史跡に指定され、現在は県民の森の一角に高森山公園として整備。園内には、敵の侵入を防ぐ土塁や堀切などが残り、幾度となく争いがあつた古戦場であつたことがうかがえます。南側の登城路では、秋風になびく紅葉が訪問者を楽しませてくれます。標高約106メートルの頂上では、街並みの景色が眼下に広がり、天気の良い日は、太平洋を望むこともできますよ。

食べる力を育む

せんだいレシピ帖

農政企画課
☎214・8266

ブロッコリーチャンプルー



仙台産のブロッコリーと生きたまご使用した、フライパン一つで簡単に調理ができる一品です。

材料（3～4人分）

豚バラ薄切り肉…200グラム
ブロッコリー …小1株
生きらげ …40グラム
（乾燥の場合は8グラム）
木綿豆腐 …150グラム
ごま油 …小さじ1
塩 …小さじ1/2
卵 …2個
かつお節 …3グラム
しょうゆ …小さじ1/2

作り方

- 1 豚バラ肉を7cm程度の一口大に切り、ブロッコリーを小房に切り分ける。生きらげは硬いところを取り除き、大きければちぎる。5、6等分にちぎった豆腐をキッチンペーパーの上のせて、水気を切る
- 2 フライパンにごま油を入れて豚肉を並べ、その上にブロッコリーをのせた後、ふたをして中火にかける
- 3 3～4分後、豚肉に焼き色が付いたら、生きらげを加えてさっと炒め、塩をふる
- 4 豆腐を加えて強火にし、豆腐に焼き色がつくまで動かさずに片面を2分焼く
- 5 全体をさっと炒め、溶き卵を回し入れさらに炒める
- 6 かつお節を入れ、しょうゆを加えて炒め合わせる

食育Point

ブロッコリーは鮮度が落ちやすいため、ぜひ地元でとれた新鮮なものでお試しください